

『こども・若者の意見反映の取組み』

令和 8 年 7 月 21 日、西日本工業大学の学生に町の状況や取組に関する町長特別講義を行いました。その際、若者のご意見をいただくためにアンケート調査(168 名回答)を実施しました。貴重なご意見をありがとうございました。寄せられたご意見に対する町の考えを回答します。

アンケート

	アンケート結果および意見	町の考え	関係課
アンケート 1	<u>問.朝食を毎日食べていますか？</u> 「毎日食べる」48％ 「だいたい食べる」24％ 「ときどき食べる」15％ 「食べない」12％ 「朝食付きの学生寮・下宿に住んでおり、朝食が提供されている」1％	「朝食を毎日食べる・だいたい食べる」と回答した習慣化している層が約7割を占める一方、「ときどき食べる・食べない」と回答した朝食欠食傾向にある層が 27％(約 4 人に1人)の上ることがわかりました。 朝食を食べない理由として、朝食を摂る時間や作る時間がないと答えた学生が多く、朝食を摂る優先順位が低いと考えられます。	保険健康課
アンケート 2	<u>問.朝食を食べない理由は主に何ですか？</u> 「食べる時間がない」32％ 「朝食を食べるより寝ていたい」17％ 「準備などが面倒だから」15％ 「以前から食べる習慣がない」15％ 「作る時間がない」8％ 「食欲がない」7％ 「減量のため」3％ 「その他」1％	苅田町では令和8年3月策定の「第3次苅田町食育推進計画」の中で大人の食育を推進しています。 今回のアンケート結果を受け、大学生に対し朝食啓発チラシを作成し、朝食の啓発を行う予定です。	
アンケート 3	<u>問.どんな条件やきっかけがあれば朝食を食べるようになると思いますか？(自由記載)</u> ・時間があれば ・用意されていたら ・習慣ができれば ・早起きができれば ・食費が安くすめば ・朝に余裕があれば ・手軽に食べられたら ・朝食の大事さを知るなどの意識など		

	アンケート結果および意見	町の考え	関係課
アンケート 4	<u>問.防災のために何かしていますか？</u> 「特にしていない」44％ 「食料や水の備蓄」34％ 「防災情報マップの確認」13％ 「防災アプリの取得」8％ 「その他」1％	半数以上の方が防災のために何かしらの対策をしている一方、44％の方が「特にしていない」という結果でした。 また、「避難情報などの入手方法が分からない」方が 50％にのぼりました。 引き続き、広報やHP等を通じて防災意識の向上に努めていきます。	危機管理室
アンケート 5	<u>問.町からの避難情報などは、どのように入手していますか？</u> 「わからない」50％ 「ホームページ」30％ 「防災行政無線」16％ 「その他」3％		
アンケート 6	<u>問.地域や町の防災訓練に参加したことがありますか？</u> 「いいえ」81％ 「はい」19％	多くの人が「防災訓練に参加したことがない」との結果でした。 地域の防災訓練に参加してもらえるよう、自主防災組織と連携していきます。	
アンケート 7	<u>問.(上記 6 で「いいえ」と答えた方に対して)防災訓練に参加する条件やきっかけについて</u> 「わからない」44％ 「学校からの案内があれば」29％ 「夏祭りなどのイベントと同時開催であれば」18％ 「炊き出し訓練があれば」8％ 「その他」1％		
アンケート 8	<u>問.避難所運営をしなければならない場合の役割について</u> 「わからない」47％ 「役場や他機関との調整などリーダーを補助する役割」29％ 「リーダー的な役割」13％ 「資格や専門知識を生かした役割(防災士など)」11％ 「その他」1％		

	アンケート結果および意見	町の考え	関係課
アンケート 9	問.期日前投票制度について 「知っている」 77% 「知らない」 23%	苅田町ホームページや選挙前には広報紙で制度をお知らせしています。今後もさまざまな媒体を活用し、より多くの方に知っていただけるよう周知に努めます。	選挙管理委員会
アンケート 10	問.不在者投票制度について 「知っている」 48% 「知らない」 52%		
アンケート 11	問.若者の選挙参加について ①「スマホや PC からネット投票ができるようになる」49%(101) ②「商業施設や駅、大学構内などに投票所が増える」 22%(46) ③「候補者の政策や人柄が短時間でわかる動画や SNS が充実する」 19%(40) ④「わからない」9%(18) ⑤「その他(学校で投票できるようにする)」0%(1)	①現在、日本ではスマートフォンやパソコンを利用したインターネット投票は認められておりません。 ②⑤苅田町は投票所を期日前投票では苅田町役場に 1 カ所、投票日は9カ所設置しています。県内には、庁舎以外に商業施設や大学構内に投票所を増設し期日前投票を実施している自治体もあります。投票所増設には、選挙システムの改修や選挙事務従事者を配置するなど多くの費用が発生しますので、費用対効果を考慮して検討していく必要があると考えています。 ③候補者の動画や SNS については、町が候補者個別の動画や SNS アカウントの制作・管理をすることはできません。なお、国政選挙、県知事・県議会議員選挙では、福岡県選挙管理委員会が選挙公報を発行し町内全世帯に配布しています。選挙公報で候補者の経歴や政策等を確認できます。苅田町長・町議会議員選挙は、告示日から投票日まで5日間しかなく選挙公報を作成、配布する時間がないため発行はしていません。 若者の投票率向上のため、みなさんからいただきましたご意見を参考に啓発活動に努めていきます。	

	アンケート結果および意見	町の考え	関係課
アンケート 12	問.<u>「多文化共生」という言葉や意味を知っていますか？</u> 「言葉は知っているが、意味は知らない」46% 「どちらも知っている」40% 「どちらも知らない」14%	「言葉だけでも知っている」が86%だったのは、比較的浸透していることが分かりました。また、「意味は知らない」「どちらも知らない」は合わせて60%であることから、意味も知ってもらうような情報発信をしていきたいです。	多文化共生担当
アンケート 13	問.<u>町内の国際交流イベントに関心がありますか</u> 「ない」63% 「ある」38%	「国際交流イベント」への関心の度合いが分かりました。 「関心がある」が全体の38%で、「参加したことがある」は、さらにその中の21%にとどまります。「参加しない」理由もわかりました。まずは国際交流イベントへの関心が高まるように発信をしていきたいです。	
アンケート 14	問.(上記13で「ある」と答えた方に対して)<u>町内の国際交流イベントに参加したことはありますか？</u> 「ない」79% 「ある」21%		
アンケート 15	問.(上記14で「ない」と答えた方に対して)<u>参加しない理由は何ですか？</u> 「情報を知らない」56% 「予定が合わない」43% 「その他(面倒だから)」2%		
アンケート 16	問.(上記14で「ある」と答えた方に対して)<u>いつもどこからイベントの情報を得ていますか？</u> 「苅田町公式LINE」47% 「苅田町ホームページ」27% 「苅田町公式Instagram」13% 「広報かんだ」7% 「その他」(広告等)7%	学生(若い世代)の主な情報取得先がわかりました。公式LINEの利用が多いですがダウンロード率がどれほどなのかは不明です。情報発信については改善の余地はありそうです。	
アンケート 17	問.<u>町が行っている以下のイベントで参加したいものはありますか？</u> ○ ワールド文化祭 「どちらでもない」57% 「参加したくない」22% 「参加したい」21% ○ わたしの気持ち日本語発表会 「どちらでもない」57% 「参加したくない」29% 「参加したい」15%	「参加したくない」が20～30%でしたが、「参加したい」15%～20%「どちらでもない」が50%以上なので、まずは、参加しやすい・したくなるイベントの企画や周知の必要があると分かりました。	

	○ 異文化理解講座(料理や異文化体験) 「どちらでもない」53% 「参加したい」26% 「参加したくない」21% ○ にほんご教室学生ボランティア 「どちらでもない」55% 「参加したくない」30% 「参加したい」15%		
アンケート 18	<u>問.どんな国際交流イベントがあったら参加したいか、教えてください。</u> 「外国人とのスポーツイベントやスポーツ大会」32% 「各国のフードフェス」25% 「外国人とのeスポーツ大会」21% 「カジュアルな国際交流カフェ」13% 「各国外国人住民とのトークライブ」7% 「その他(参加したくない、英語が苦手だから参加したくない、特にない等)」3%	今後のイベントの見直しや興味ある内容の企画を立てるときの参考になります。この結果を踏まえ多文化共生事業の普及・推進に努めていきたいと思います。	